

『もっと！！本野通信』 No.131

諫早市立本野小学校長 永 井 洋



いのち・心の講話

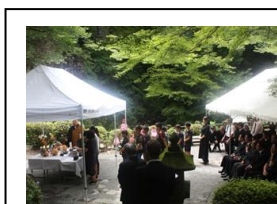
今年の教育週間では、「動物のいのち」をテーマに、諫早市内で「犬や猫の一時保護活動」をされている、三宅様に來校いただき、子どもたちにもわかりやすくお話いただきました。ご自身の実際の活動内容、体験をもとに本も出版されている方（図書室にあります）で、説得力ある内容に子どもたち、教職員も引き込まれていました。親猫を事故で失った4匹の子猫の成長の様子や、人間と同じように年を重ねる犬たちと向き合う姿から、子どもたちも話に引き込まれていったのだと思います。目には見えない、いのちや人の心との向き合い方や、動物や植物など、わたしたち人間以外のいのちと向き合う責任を学ぶことができたようです。

この機会に学んだ、「いのちの重み」や「優しさという心」をこれからの学校、家庭生活でもいかしてほしいと思いました。

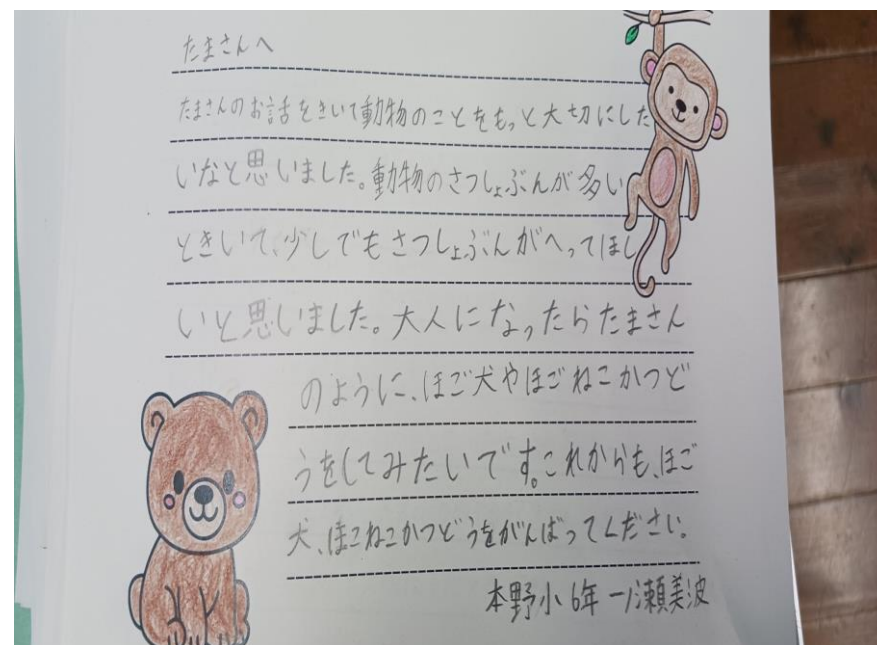


源流祭参加依頼

6年生の保護者の皆さんに、源流祭参加依頼のお知らせを配付しました。これは、毎年7月25日に富川の大雄寺で開催される、本野地区の戦没者、水難犠牲者の慰霊の式典です。本野地区社会福祉協議会長の藤山様より依頼を受けましたので、参加の有無を期日までに担任まで提出ください。もちろんですが、夏季休業中で土曜日でもありますので、参加を強制するものではありません。送り迎えについては、学校集合・学校解散で、タクシーの送迎があります。詳細については、近まりましたら再度連絡いたします。



いのち・心の講話感想 裏面にも掲載しています



～校長室の窓から～

まもなく、今年の上半期が終了します。2026年もあと半年ということです。いつもこの時期には、これまでを省察したり、今後の目標や目的を再構築したりしています。学校暦で行けば、4月スタート、3月終わりですが、わたしは、プライベートや家庭では、1月スタート、12月終わりを意識するようにしています。お正月に家族が揃うことが多いからです。

1月に掲げた目標は、「離れて暮らす家族がさらに仲良くなれるよう、リモート会議を1か月に1回する」でした。今のところ続いていますし、新しい家族も1人増え賑やかにもなりました。もう1つは、「本野小の子どもたちと先生方が、大きなけがや事故なく、安全に安心して過ごせる学校づくりをする」です。12月に、どのような答えが出るか楽しみです。

たまさんへ

私がはなしを聞いてわかったことは、

動物や人間に命があるのは『きせき』なこと

です。命というものがなければ自分の家族や友達

とも出会えてないし、いろいろな人に出会えてなか

たと思います。命があって本当によかった

と思いました。命がなぜあるのかなど

はなされたことをせたいにわすれません。



本野小 6年1組 宮崎 鳳

いのちをたいせつにす

ることがあります。これ

からいのちをたいせつにし

たいます。

さかぐちおうたるより



たまさんへ

ネコや犬のお言話しを動物にみえ

うがあたり、びょうきもあたりして人と同じなんだ

な。と思いました。ネコや犬をあいする気持

ちになりました。ありがとうございます。

3年1組 且み

高橋 奏音



タマさん

お言話ししてくれてありが

とうございます。タマさんのお

カキテ"どうぶつ"のいのちのことをし

れたのでこれからいのちをたいせつにしま

石じま みちる

